

横浜キネマ倶楽部

第66号 会報

2021年11月6日発行

第66回上映会

喜劇・いじわる大障害

藤浦敦 監督作品

1971年/日本/カラー/79分/ブルーレイ上映



(C) 日活

2021年11月6日(土)

[上映時間] 13:30

[講演] 15:00~16:00 講師:立川談四楼さん

[会場] 横浜市旭公会堂

『喜劇・いじわる大障害』

【物語】

現代の若者の憧れの的・東京、一千万人の人々を抱え、スモッグや交通戦争などに悩まされている大都市、こんな中でドデカク成功し名を上げて故郷に錦を飾ろうとする若者は今も昔も変りない。豪農、猪狩家の息子次郎も御多忙にもれずその一人だった。おやじやおふくろの止めるのも聞かず、大望に胸を膨らませて東京にいる従妹の談次を訪ねて、一路東京へと向った。ここは人でごった返す東京の街、右往左住する次郎は、かわいい女性に痴漢と間違えられ、挙句はオタメゴカシの男に財布をスラれ、タ

クシーで追いかけても、右折禁止にUターン禁止、車は渋滞で全々動かず、仕方なしに交番にとびこんだが、交番襲撃犯人と間違えられてこってり油をしぼられてしまった。つかないときにはすべて駄目なもの、交番で親切ごかしに云い寄ってきた女スリシゲには、無銭飲食の罪をかぶせられ、ションボリと町を歩いていた次郎は、先刻のスリ千吉にばったり出会い、金をとり返そうとしたが逆に股間を蹴られ又々逃げられてしまった。

【出演】

立山談次・・・・・・・・立川談志
猪狩次郎・・・・・・・・岡崎二郎
春子・・・・・・・・夏純子
クラブのマスター・・・三遊亭円楽
易者・・・・・・・・林家三平
警官・・・・・・・・三遊亭小円遊
千吉・・・・・・・・林家木久蔵
トルコの王様・・・・・・三遊亭円歌



(C)日活

【スタッフ】

監督：藤浦 敦 音楽：鏑木 創 録音：紅谷 愼一
脚本：中西隆三 撮影：高村倉太郎 監修：立川談志

【立川 談志】（たてかわ・だんし）

1936年、東京都に生まれる。

16歳で柳家小さんに入門、前座名「小よし」。18歳で二つ目に昇進し、「小ゑん」。27歳で真打ちとなり、五代目立川談志を襲名する。1971年、参議院議員選挙に出馬し、全国区で当選。1977年まで国会議員をつとめる。1983年、真打ち制度などをめぐって落語協会と対立し、脱会。

落語立川流を創設し、家元となる。2011年11月21日死去。享年75。

【立川談四楼（たてかわ・だんしろ）さん プロフィール】

- 1951年06月 群馬県邑楽町生れ。
- 1970年03月 県立太田高校卒、同年立川談志に入門。
- 1980年11月 NHK 新人落語コンクール優秀賞受賞。
- 1983年11月 立川流落語会第一期真打となる。

同年、真打昇進試験を題材にした小説『屈折十三年』（別冊文藝春秋）で文壇デビュー。
1990年8月初の小説集『シャレのち曇り』（文藝春秋刊）各方面から評価を得る。
以来、新聞や雑誌にエッセイや小説を書き続けている。
1998年一年間、専修大学の特別講師として「古典特殊講義」で教壇に立つ。
1999年専修大学の講義の様子が『ガチンコ人生講義』（新潮社OH!文庫刊）にまとまる。

真打昇進以来、独演会を積極的に展開、フランチャイズとなる東京下北沢、北澤八幡神社における『立川談四楼独演会』は2021年12月で237回を数える。
以前の住まい地元、世田谷経堂の「カフェさばのゆ」での独演会は毎月開催。
銀座の蕎麦「流石亭独演会」は、春夏秋冬、年4回開催(限定30名さま)
新宿にも拠点があり、二丁目の「道楽亭」で年6回の独演会を展開中。
そして、郷里群馬を始めとして埼玉、山形、長野、岐阜、大阪、長崎などにも拠点を持つ。

著作数は、30を超え、代表作は『シャレのち曇り』『一回こっくり』『談志が死んだ』の小説3部作。
他に『ファイティング寿限無』10万部を超えるロングセラー『声に出して笑える日本語』がある。

.....

☆ アンケートご協力、ありがとうございます
第65回上映会 『我が人生最悪の時』のアンケート結果は、次回第67号会報に掲載します。ご了承ください。

☆ 横浜キネマ倶楽部 オンライン交流会 開催 参加者募集中
12月11日（土） 19時00分～20時30分
12月12日（日） 14時00分～15時30分
詳しくは、ホームページ、チラシにて案内中です。

次回第67回上映会のお知らせ

2022年3月12日(土)

＜作品選定中＞

〔会場〕 横浜市南公会堂
南区総合庁舎内3階
045-341-1261

横浜市営地下鉄「阪東橋」駅下車
徒歩8分
京浜急行「黄金町」駅下車 徒歩14分



横浜市南公会堂 地図

☆☆☆ 上映作品が決定次第、ホームページで告知します。☆☆☆
お待ち下さい

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、2005年5月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一步でも近づきたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年4回の上映会を行っています。

横浜キネマ倶楽部会報

発行：横浜キネマ倶楽部



…横浜キネマ倶楽部 連絡先…

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
かながわ県民活動サポートセンター No.269
TEL:080-8118-8502 (10時~18時)
Eメール yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス: <https://ykc.jimdofree.com/>